

□ 要請番号 (JL32425B05)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
パラグアイ	G101 青少年活動		個別	新規	2年	・2026/2・2026/3・2027/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育・科学省

2) 配属機関名（日本語）

マキシモ・アレリヤーノ第1インクルーシブ教育支援センター

3) 任地（アスンシオン市） JICA事務所の所在地（アスンシオン市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約5.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、知的障害のある児童・青少年の総合教育を目的とし1956年に設立され、特別支援学校教育とインクルーシブ教育支援センターのどちらも兼ね備えた機関である。学校には、軽度から中度の自閉症、ダウン症、学習障害などの障害を持つ子どもたち101名が在籍し、センターには、首都や首都圏の学校から紹介された130名の利用者がおり、利用者と出身校を繋ぐ役割も担っている。児童生徒や利用者の保護者に対し、障害を持つ子どもへの支援や指導法等についてのワークショップや学習会も提供している。また、センター利用者の出身校の教師とも協力し、必要な調整も行っている。JICA海外協力隊の派遣実績はない。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

授業は、月曜～金曜の7:00～15:00で行われ、利用者の障害レベルに合わせて個人もしくは少数グループで、学習支援の授業(読み書き計算を含む)や日常生活スキル獲得の自立支援活動、学校での授業の内容の復習など、屋内外でのレクリエーション活動等を実施している。経験豊かな教員が多いものの、教員レベルの向上と授業やレクリエーション活動の内容の充実を図るため、特に芸術教育といった、当配属機関でカバーされていない分野に取り組むため、図画工作(実習実技)の専門性や知見を有する人材のアドバイス等が必要とされ、本要請に至った。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

- センターに通う児童・生徒に対し、図画工作の授業を行う。
- 身近なものを活用した教材、副教材等の開発をする。
- 教師や専門家に対し、実技実習の勉強会を実施する。
- 図画工作を通じ、日本文化紹介を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務机、椅子

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚

・センター長(男性、40代)、コーディネーター、ソーシャルワーカー等スペシャリスト20名(20代～60代)
活動対象者

- ・センターに通う障害児・者 95名(8歳～23歳)
- ・教師21名(20代～60代)、スペシャリスト20名(20代～60代)

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：()

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：実践的な活動のため

[汎用経験]：

- ・障害者を対象とした活動経験

[参考情報]：

- ・図画工作の知識や経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(温暖湿潤気候) 気温：(0～40°C位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水源]：(安定)

【特記事項】

【類似職種】